

(様式1)  
令和元年度 目標達成計画

園所名 神和認定こども園

良いとこ自慢・・・自分の園所が自信をもって誇りに思えるような取組  
ここを改善・・・主にこれまでの特定教育・保育施設評価の中で課題・改善点として挙げた内容の取組

教育・保育：心豊かでたくましく生きぬく子ども  
・健康で丈夫な子ども ・自律心のある子ども ・思いやりをもったやさしい子ども

【目標達成計画】		項目	園の現状や取組、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	成果	評価
	共通課題		・散歩等園外での保育活動における安全対策について	・散歩を教育保育活動として重要視しているため、散歩における安全対策を徹底する。 ・子どもたちが交通ルールを守って安全に歩く。	・散歩マニュアルの見直しを行う。 散歩ルートで危険な場所を全職員で把握し、安全度の確認を警察と共に行い、共通理解する。 ・ＩＰフォン、非常ベル導、横断旗新調。 ・散歩の前に、交通ルールや安全に歩くために注意することを子どもたちに確認している。 ・「お散歩マップ」を作成して、各部屋と事務室に掲示し、出発前に危険箇所を確認する。	・全ての具体的な取り組みを実践できた。特に、ＩＰフォンは散歩の目的地に到着した時と、園に向けて目的地を出発した時の連絡に役立っている。 ・地域に見守られながら、自分の身を守ることを伝えることができています。また、作成した「お散歩マップ」はルートの危険箇所確認に有効に活用できている。	・散歩マニュアルを見直し「現地到着時・帰園時にＩＰフォンで連絡を入れる、横断旗を使用する」等を追加し、全職員で共有し実践できている。 ・コース別に道順を色分けしたり、危険箇所・自然発見ポイント等を記載し、わかりやすい「お散歩マップ」として作成されている。各保育室・事務室に掲示し、全職員で共有している。 ・子どもが「自分の身は自分で守る」ことに気づき考える力をつけられるよう保育士が言葉かけを行い、散歩前や散歩中にも確認するよう取り組まれている。 ・警察と一緒に園外の安全ルート・安全管理等について話し合い、共通理解する機会が持てた。
良いとこ自慢！	保育内容面		・乳児保育（０１２歳児クラス）：一人ひとりの子どもに向き合い、成長を丁寧に支える育児担当制を導入して２年目となる。 ・幼児教育保育（３４５歳児クラス）：「子どもたちが主体的に活動する」を課題として、日々の教育保育で実践しようと努力している。	・神和の５本柱を保育の核とし、一人ひとりに向き合う育児担当制を深める。 ・神和の５本柱を保育教育の核とし、子どもの活動をよく観察し、主体的な活動が深まっていくように環境を整える。	・グループごとに担当保育教諭を決めて、丁寧に保育をすすめるながら、子どもとの信頼関係を深める。 ・ドキュメンテーションを作成して掲示することで、主体的な活動を考察している。掲示は３、４歳児クラスは毎週１回、５歳児クラスは「幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿」を意識して毎日作成している。	・育児担当制により、ゆったりと丁寧に保育をすすめており、子どもたちはとても落ち着いて生活していて、成果が上がっていると実感している。 ・ドキュメンテーションについては、３、４歳児クラスは週１回、５歳児クラスは毎日作成して、子どもの主体的な活動を可視化し、「１０の姿」で考察できた。また、保護者の理解を促すために、目に付きやすい所に掲示している。	・保育の核としての神和５本の柱（①笑顔 ②認める ③待つ ④寄り添う ⑤考え工夫する）を設定され、子どもたちの成長に向けて、具現化するための努力を真摯に続けている。 ・年長児におやつ配布や午睡後、年少児を起こす係などの役割を果たしてもらい、自信を高められるように配慮している。また、ドキュメンテーションを作成し掲示することで、子どもたちの活動と実践の可視化ができており、振り返りに活用している。
	管理運営面		・環境を通して行う保育を心がけているので、保育室の環境を更に充実させる。 ・職員間の連携が良好で丸となっているので、チームワークを更に高める。	・０１２歳児クラス：保育室は発達に応じた環境づくり。 ・子どもたちの自由な発想での活動が展開されるように、保育材料を準備する。 ・子どもの活動が充実するようにクラスの担任間のチームワークを高める。	・季節にそった月のテーマを園全体で決めて、それぞれのクラス活動を展開している。 ・月ごとに保育室の絵本を入れ替える。季節や成長に合わせて保育室の環境を整える。 ・クラス会議をして、子どもたちの課題や次の成長についてクラス担当で話し合い、連携を深めている。３、４、５歳児クラスの日は朝提示して、その日の活動内容を確認し合っている。	・内容欄の全ての取り組みを実践している。特に絵本の入れ替えを含めた保育室の環境整備は意識して取り組むことに成果が見られた。また、クラス会議は上手く時間を作ってできている。３、４、５歳児クラスの日は、朝の掲示を忘れていたクラスがあったので確認し、毎朝掲示するようになり、担任間で共有できて成果がでた。	・園全体で季節に応じた月のテーマを決め、クラス毎に、年齢に応じた活動が展開できるように取り組まれ、日案を掲示し園全体で共有されている。月ごとに保育室の絵本を入れ替え、制作物や植物を掲示・設置する等、日々季節が感じられるよう環境整備ができています。 ・クラス会議を週１回、必要時には随時開催し、子どもの様子・課題・行事等について検討し共有している。また、わかりやすい議事録で情報共有し、連携が深められている。
ここを改善！	保育内容面		・前回の評価の課題 ①「こども園化で人数がふえたので、より細かな指導や目の行き届いた保育が行われるために、さらなる努力が必要」 ②「動植物に接したり、自然を感じながら活動できる環境が整うと、より豊かな体験が得られる」	① 012歳児クラス：育児担当制保育345歳児クラス：各クラス常勤保育教諭による完全複数担任とし、子どもの活動をしっかりと観察する。 ② 園隣の畑の利用・園外保育（散歩）により、自然との関わりを深める。	① 0歳児3：1、1歳児5：1、2歳児6：1での育児担当制。 ② 園外保育の機会を増やして、自然の営みを五感で感じ、教育保育に取り入れる。	・育児担当制を実践し、細やかで丁寧な保育を心掛けており、子どもの様子に成果を見ることができている。３、４、５歳児クラスの完全複数担任化により、余裕を持ってドキュメンテーション作成や子どもの観察や保育の準備ができた。 ・散歩や園畑で子どもたちが自然と関わる機会を多く持つことができた。	・乳児保育においては、子どもたち一人ひとりの成長を丁寧に支えていくために、「育児担当制」を導入している。２歳児の落ち着いた姿からその成果が出ていると感じた。 ・幼児保育においては、三木市のカリキュラムを活用し、子どもたちの活動の観察から、子どもたちのより主体的な活動を引き出せるよう取り組んでいる。
	管理運営面		・前回の評価の課題：職員会議の議事録の書式の検討。職員会議の機能が多様なため、罫線や表などを用いて見やすく把握しやすい工夫をする。 ・ノンコンタクトタイムを作る。	・週1回の職員会議の内容を伝達して共有するために議事録を見直し、内容がわかりやすい書式を考える。 ・午睡中に子どもから離れる時間をもち、職員の気持ちのリフレッシュを図る。	・会議録を分かりやすい表などを活用して新しい書式にした。また、口頭伝達による漏れを無くし、情報の共有を確認できるように、全員が各自で確認したことを押印して示す欄を設けた。 ・３、４歳児担任は、らっこの部屋を活用する。５歳児担任は、ドキュメンテーション作成時をその時間とする。０歳児担任は、部屋を離れる時間をつくる。１、２歳児担任は今後に向けてどのように調整したら良いかを検討し、実践する。	・会議録の書式変更を行い、情報の共有及び確認に有効に利用できた。 ・ノンコンタクトタイムの確保は、年休取得と共に、働き方改革の一つとして職員に伝えた。２階に保育室がある３、４歳児クラス担任は、自分たちで協力し合って、ラッコの部屋を利用し、確保ができています。５歳児クラス担任はドキュメンテーション作成時間を上手く利用している。１、２歳児クラスは作り方を研究しながら実践している。０歳児クラスはできています。	・職員会議議事録の書式を検討し、見やすく理解しやすい書式に変更されている。内容も詳細に記録され、議事録として有効に活用されている。全職員の押印により、情報共有も確認できる。 ・余裕のある人員配置を活かし、働き方改革に取り組まれている。トップダウンではなく、職員間で話し合いながら、各クラスでノンコンタクトタイムを確保できるよう工夫し実践につなげている。